

杭州 2022 アジア競技大会 競歩日本代表選手選考要項

1. 編成方針

2023年度の重要な国際競技会と位置づけ、本大会でメダル獲得及び入賞が期待される競技者で選手団を編成する。また、最重要国際競技会と位置付けているブダペスト 2023 世界陸上競技選手権大会の選手選考も加味したうえで戦略的に派遣を行う。

2. 開催地

杭州（中国）

3. 開催期間

2023年9月23日（土）～10月8日（日）

4. 開催種目

- (1) 男子 20km 競歩
- (2) 女子 20km 競歩
- (3) 混合 35 km競歩

5. 選考競技会

- (1) 男子 20km 競歩・女子 20km 競歩
 - ・第 106 回日本陸上競技選手権大会・20km 競歩（2023／神戸）
 - ・第 47 回全日本競歩能美大会（2023／能美）
- (2) 混合 35km 競歩
 - ・第 59 回全日本 35km 競歩高島大会（2022／高島）
 - ・第 107 回日本陸上競技選手権大会・35km 競歩（2023／輪島）

6. 選考基準

編成方針に基づき、ブダペスト 2023 世界陸上競技選手権大会の選考も加味したうえで日本代表選手を選考する。選考条件は、下記のとおり定める。

・選考条件

全選考競技会終了時点において、各選考競技会において日本人 6 位以内の競技者の中から、各選考競技会での記録・順位・レース展開・タイム差・気象条件等を総合的に勘案しつつ、歩型違反による失格のリスクの程度も併せて勘案し、本大会で活躍が期待されると評価された競技者

7. 選考方法

全選考競技会終了後、編成方針及び選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、選考委員会の議を経て、専務理事の承認をもって決定する。

8. 補足

- (1) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数は 大会主催者が定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。
- (2) 代表選手は、派遣団体である公益財団法人日本オリンピック委員会が正式決定する。
- (3) 代表選手は本連盟または大会主催団体が定める義務及びその他必要事項を遵守するものとする。
- (4) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
 - 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
 - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
 - 3) 前記(3)を遵守しない場合
- (5) 代表選手の決定から本大会までの期間が長いことに配慮し、大会組織委員会が認める期限までに正選手に故障などが生じた場合は、補欠が正選手となり本大会に出場する可能性がある。
- (6) 天災、疫病の流行その他の理由による選考競技会の開催中止またはその開催方法等の変更に伴い、選考競技会、選考基準及び選考方法について、専務理事の決定により、変更することができる。ただし、選考基準について基本的な考え方の変更を伴う場合には、理事会の決議を要するものとする。

以上